

みやしる

No. **120**
2021.11.1

議会だより

コロナ禍で人数制限

ミニうんどうかい
(子育てひろば)



宮代町議会HLP
QRコード

令和2年度一般会計決算

私たちの税金はどう活かされたか...2

特別会計決算**健康寿命の延伸を目指して**6

町政をただす
一般質問に12人が登壇10

町民の声・各議員の賛否24

私たちの税金は

どう活かされたか

決算特別委員会で検証

9月定例議会は、8月26日から9月24日までの30日間にわたって開かれました。

町長から令和2年度一般会計決算の認定や、条例改正など25件が提案され、審議の結果、指定管理者の指定（公設宮代福祉医療センター）と宮代町教育委員会の委員の任命は可否同数のため、議長裁決で可決、同意しました。その他の議案はすべて原案どおり認定、可決しました。

また、議員から提出された「出産育児一時金の増額を求める意見書」と「建設アスベスト被害者の早期救済を求める意見書」、「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」は全会一致で可決しました。

一般質問では、12人の議員が登壇し、町政をたどしました。

審査意見（抜粋）

監査委員 しんそ あきら 新祖 章 氏

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策に係る多額の国庫支出金があったが、その用途については概ね適正に執行されたものと思う。今後も裁量の範囲が広い財源の活用にあたっては、常に町民の理解が得られるか否かに留意し、執行していただきたい。

新型コロナウイルス感染症について、ワクチン接種も進められているが、新たな変異株の発生もあり、現在でも感染拡大は収まっていない。この影響が長引くことにより経済の低迷が長期化し、今後の行財政運営はより厳しさを増すことが予想される。そのため、今後も一層の歳入確保と経常経費の節減に努めるとともに、選択と集中により各種事務事業を効率的に執行し、最小の経費で最大の効果をあげるように、なお一層努力されることを要望する。

総務・財政

主な使いみち

●男女共同参画社会推進事業	187万円
●ふるさと納税管理事業	2,107万円
●庁舎管理事業	7,611万円
●広聴・広報事業	1,214万円
●O A管理事業	1億2,543万円

問 広報みやしろの配布部数は、緊急事態宣言中は、町から郵送で1万5000部全戸配布した。

答 広報みやしろの配布部数は、緊急事態宣言中は、町から郵送で1万5000部全戸配布した。

問 男女共同参画プラン策定のためのアンケートは、

答 小中学生の回収率は93%、一般町民からの回収率は52%で意識調査を実施し、プランに反映する。

問 会計年度任用職員制度になったが、雇用数は、

答 令和2年度任用数は、189人。フルタイム12人、パートタイ

広報みやしろは、行き渡っているか

問 顧問弁護士委託事業が増額となっているが、

答 ム177人。

問 町民相談73件、町の相談19件、個別事案対応のため、委任契約を締結し、町の円滑な業務遂行の確保に努めた。

問 ふるさと納税の状況は、使途を具体的項目にできないか。

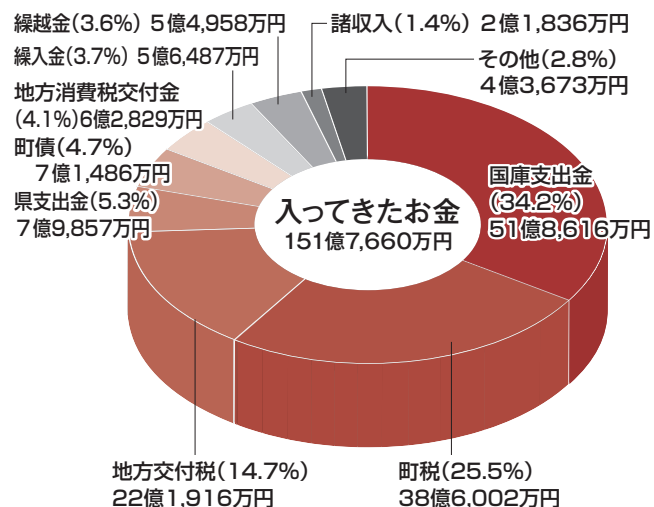
答 金額では県内順位21番目。具体的事業に対して賛同を得るクラウドファンディング的な仕組みの検討もしていきたい。

分野	寄付金額
農のあるまちづくりに関する事業	1,089万円
子どもたちの未来に関する事業	1,523万円
市民活動支援に関する事業	75万円
宮代の桜を大きく育てていく事業	167万円
宮代の歴史文化を後世に伝える事業	93万円
観光や町のPRに関する事業	84万円
みやしろにぎわいプロジェクト	42万円
その他まちづくり全般	1,482万円
合 計	4,554万円

いただいた寄付の概要

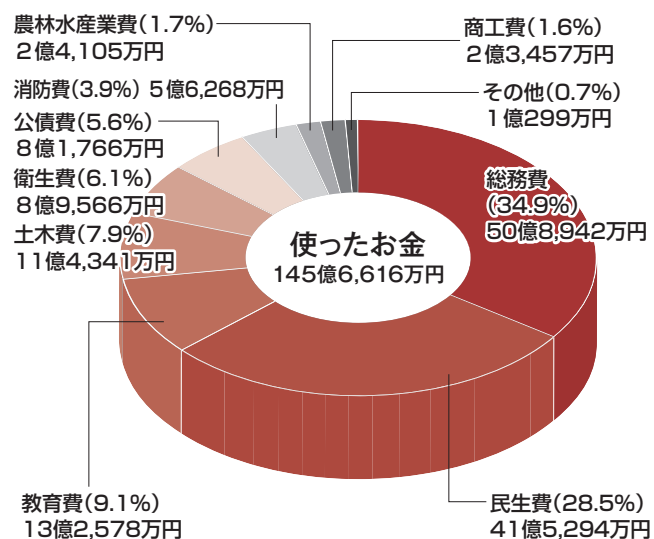
●歳入の内訳

151億7,660万円(前年度比40.8%増)

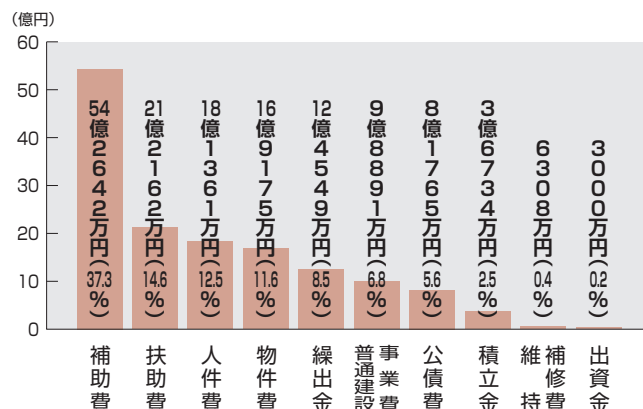


●歳出の内訳

145億6,616万円(前年度比42.4%増)



■歳出の性質別内訳



- 扶助費…社会保障制度の一環として児童、高齢者、障がい者、生活困窮者などに対する支援に要する経費
- 物件費…消費的性質の経費の総称(報償費、旅費、需用費、役務費、備品購入費、委託料などの経費)
- 繰出金…国保、介護、後期高齢者医療など特別会計に支出される経費

商工・建設

主な使いみち

●新しい村管理運営事業	3,865万円
●都市計画道路整備事業	6,709万円
●東武動物公園駅東口周辺整備事業	1億6,848円
●農業生産基盤整備推進事業	1,881万円
●商工業振興事業	1億8,739円

問 担い手経営体が百間地区21経営体、須賀地区15経営体とあるが具体的には21人、15人か。

答 農家個人でなく、農業法人も含まれ、百間地区3会社、須賀地区4法人も参入している。

問 アピールが大切だが、メイドイン宮代をどうPRしたか。

答 ふるさと納税の返礼品として、全国PRし、周知を図った。

問 新しい村、育苗施設の女子トイレはできたが、町民がいつでも使えるトイレが必要では。

問 耐震改修工事とブロック塀撤去の補助制度は使われたか。

答 耐震改修工事は1件、ブロック塀撤去は、2件利用された。

問 耐震改修工事とブロック塀撤去の補助制度は使われたか。

答 耐震改修工事は1件、ブロック塀撤去は、2件利用された。



農業経営参入 東地内2.2ヘクタール

宮代町「人・農地プラン」の経営体とは



宮代消防団の訓練風景

生活・保健

主な使いみち

●清掃総務事業	4億9,166万円
●消防総務事業	5億6,268万円
●自転車対策事業	677万円
●保健予防事業	1億1,289万円
●母子保健事業	2,754万円

問 消防団詰所の環境は整ってきしたが、高齢化が進む消防団員、新規団員補充を。

答 令和3年4月現在で団員は91人。7人の欠員となっている。早急に補うよう努力したい。

問 自転車対策事業が増額になったのは。

答 和戸駅第1・和戸駅第2、姫宮駅西口の駐輪場に7台の防犯カメラを設置したため。

問 定住促進のためにも、空き家バンク推進状況は。

答 空き家バンクに登録がない状況。周知、活用促進する。

問 コロナ禍による医療施設応援給付金の申請、支給結果は。

答 医療診療20、歯科5、薬局3の計28施設。

問 健康教室を地域コミュニティの場所で行うことは。

答 要望があれば可能。

問 子宮頸がんワクチンを5人受けているが。

答 積極的勧奨は控えているが、対象者に通知を郵送した。

消防団員の高齢化進む、早期補充を

反対です 討論

小中学校の統廃合は撤回すべき

丸藤栄一 議員

- ①消防署中島出張所の廃止は認められない。
- ②いじめが発生しているが、対応が遅い。
- ③町の女性幹部職員の比率が極端に低い。
- ④財政構造の「経常収支比率※」が高すぎる。
- ⑤空き家が増えており、条例の制定が必要。

賛成です 討論

迅速な感染症対策、安心・安全な政策実施

泉伸一郎 議員

◆新生児への商品券支給、ひとり親家庭への臨時給付金、中小企業者支援金などの感染症対策事業はありがたい。公共施設の対策工事や衛生用品、備品の購入も早急な対応であった。笠原地区浸水対策も評価する。

コロナ禍での事業見直しを評価

塚村香織 議員

◆長引くコロナ禍で、各課事業の中止や次期開催に備えた見直しが進められたことを確認した。多様な声に対応できる柔軟な支援の仕組みを作り、枠にとらわれない、本質に視点を置いた事業運営を要望し賛成する。

歳入努力を評価し賛成する

西村茂久 議員

◆本決算の歳入について町税収入が町たばこ税を除き全税目計で約1億円増収になった徴収努力は評価する一方、歳出については多くの事業で十分な成果が出せず課題を残したが、コロナ禍の状況を勘案し、本案に賛成する。

適正配置計画は地域の声を聴いて

丸山妙子 議員

◆決算のため賛成。子育て支援は取り組みを評価する。人権についての研修はリモートを活用し、コロナ禍でもしっかりと取り組んだ。中学校統廃合について、財政でなく、請願の持つ意味と地域、将来通う子供の声を聴いて。



コロナ禍でも開催できた成人式（東武動物公園 1月10日）

福祉・教育

主な使いみち

●小学校施設管理事業	2億3,600万円
●中学校施設管理事業	1億2,556万円
●障害者総合支援事業	6億9,449万円
●学童保育所運営事業	1億3,324万円
●みんなで子育て！こども未来事業	768万円

学童保育のサービス向上は図られたか

問 学童保育運営が指定管理者になったが、評価は。

答 平日の閉所時間が19時まで、休日は7時30分から開所になった。サッカー教室、理科実験教室、マジック鑑賞など、サービス向上がなされている。

問 病児保育が始まったが。

答 令和2年度の病児・病後児保育は、病後児7人のみだった。コロナ禍で利用制限をしていたため少なかった。

問 民生委員の欠員が続いている

答 難しい役割なのか。

問 地域で推薦をもらっているが、地域の見守り、高齢者の見守りなど、町と地域のパイプ役となる。

問 県内初となるレジャーランド「東武動物公園」での成人式だったが参加率は。

答 202人参加で58%。

問 不登校対策は十分か。

答 さわやか相談員、ボランティア相談員、教育相談員がフォローに努め、支援してきた。

※経常収支比率とは 地方税、地方交付税、譲与税・交付金などの経常的な一般財源が、どの程度経常的な経費に充てられているかを示す指数のこと。

の延伸を目指して

国民健康保険

賛成10、反対2

「歳入」36億2343万円
「歳出」35億 86万円

町の総世帯数は毎年増加している中、国民健康保険に加入している世帯は減少している状況です。

歳入総額は前年度比7・2%の減額となりました。主要な財源である国民健康保険税は、被保険者の減少に伴い前年度に比べ減少しました。町の保険給付費の支払いに対して交付される普通交付金は、減収となりました。

歳出は一般被保険者の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えにより減額となりました。



また開催してほしい福祉運動会

依然として

国保財政は厳しい

監査委員

新祖 章氏

歳入確保への取り組みとして、滞納繰越分は納税相談を実施するなど徴収対策に取り組むことで、収納率が0・6ポイント向上しました。

被保険者数は令和元年度の7908人に對して7608人、率

にして3・8%の減となっており、依然として国保財政は厳しい状況にあると言えます。

令和2年度は、「第2期宮代町データヘルス計画」スタートの年度でもありましたが、引き続き保健事業を効果的に推進し、被保険者の健康寿命の延伸を目指し、適正な事務事業の執行を要望します。

主な質疑

問 将来に向けて国保事業を健全にやっていくための方策についての考えは。

答 平成30年度から埼玉県運営となり、最終的には令和9年度に県内統一される予定。国保の健全財政の運営に向かって進められている。

問 保険税の収納率は87・7%。残りの12・3%が滞納もしくは不納欠損、人数は何人が。

答 現年度課税分の収納率は95・5%。滞納繰越分32・9%。現年度課税分と滞納繰越分を合わせて収納率が87・7%。不納欠損は72件、361万円。

問 国民健康保険加入者の収入は。

答 所得300万円以下の世帯及び世帯員2人以下の世帯が75%と、国民健康保険に加入している世帯については所

得は多くはない。

問 軽減税額は申請か、それとも自動的にこの区分に分かれて徴収か。

答 所得状況は確認しているの、軽減後の金額で通知を送付する。

問 薬剤費軽減にジェネリック医薬品の効果は。

答 数量シェアが国保連合会から出ている。宮代町は令和2年度は78・5%。

反対討論

山下秋夫議員

①国に対し計画的に国庫補助金を引き上げること。

②子供に対する均等割を非課税にすること。

③今後、一般会計より繰り入れを増やし、国保税を引き下げることを強く求める。



地域で行なわれている健康体操

健康寿命

介護保険

〈賛成10、反対2〉

〔歳入〕31億7129万円
〔歳出〕29億1527万円

令和2年度は、65歳以上の第1号被保険者が、町総人口に占める割合は32・5%となっています。要介護等認定者は1710人で、認定者数は年々増加しています。

主な質疑

問 要介護になるまでの予防というような、運動をやってくれるようなことは。

答 地域包括支援センターなどでご相談を受けて、その方に合った体を動かすためのメニューを考え、プランの作成というのもできる。要介護認定の一手手前として、要支援といった認定もある。

問 地域交流サロンは行って楽しいと思わないと、来る人が長続きしない。28か所の交流サロンは、月に何回ぐらい開催しているのか。

答 月1回と2回がほとんどという状況である。

問 居宅介護サービス給付、介護予防サービス給付事業の件数の減少は。

答 昨年の2月ぐらいから新型コロナウイルスの影響が大きく、利用を控えるといった傾向が見られる。

後期高齢者医療

〈賛成10、反対2〉

〔歳入〕5億3076万円
〔歳出〕5億2660万円

主な質疑

問 保険料が増額しているのでは。

答 令和2年度の1人当たりの調定額は、7万4932円。元年度は、1人当たり調定額7万2245円ということで、前年度比で3・7%増となる。

反対討論

山下 秋夫 議員

本年8月より制度が改正され、介護保険加入者で低所得者の食費、居住費が負担増となる。後期高齢者医療保険窓口負担も1割から2割に引き上げようとしている。

水道事業会計

〈賛成10、反対2〉

●収益的収支（税抜き）
〔収入〕7億6841万円
〔支出〕6億8378万円
〔純利益〕 8463万円

純利益は、建設改良積立金に積み立て。

●資本的収支（税込み）
〔収入〕2億3997万円
〔支出〕5億5856万円
〔不足額〕3億1859万円

不足額は、建設改良積立金、過年度分損益勘定留保資金などで補てん。

主な質疑

問 老朽管更新などに伴う配水管布設替え工事は、どのような基準で計画されているのか。

答 新水道ビジョンを策定して、年間約4億4000万円の工費をかけて整備していく。

問 料金が安いのは。 答 本町は行政規模が小

さく大口の事業者も少ない。地下水の水質もあまり良好でないことで、薬品の処理費もかかるし、施設の老朽化も進んでいる。ほかの事業体とは少し性質も違う。



下水道事業会計

〈全会一致で可決〉

●収益的収支（税抜き）
〔収入〕11億4527万円
〔支出〕10億9021万円
〔純利益〕 5506万円

純利益は、減債積立金に積み立て。

●資本的収支（税込み）
〔収入〕5億1745万円
〔支出〕5億7826万円
〔不足額〕 6081万円

不足額は、当年度分損益勘定留保資金で補てん及び翌年度企業債を充当。

福祉医療センター

選定結果に質疑が集中！

最終日の9月24日、「指定管理者[※]の指定」について本会議において審議され、公設宮代福祉医療センターの選定結果について、集中的に質疑が行われました。審議の結果、賛成6、反対6の可否同数のため、議長裁決により可決しました。

指定管理者の指定

〈議長裁決で可決〉

主な質疑

問 選定委員の構成はどうなっているのか。

答 施設利用の代表者1名は六花の運営懇話会の代表の方。識見者

2名は共栄大学の経営学部教授、もう1人は幸手保健所の所長。他に町職員3名、公募の市民2名となっている。

問 指定期間を10年とした理由は。

答 従来の5年以内を原則としつつ、雇用や設

備投資、新しい事業を期待して長く設定した。

問 今回の指定管理者の評価は、100点満点の約半分の51点ではないか、結果をどう受け止めているか。

答 指定管理の評点は50点を標準点としているので、標準的な機能

● 指定管理者に管理を行わせる施設の名称

公設宮代福祉医療センター

● 指定管理者に指定する団体の名称・所在地

公益社団法人地域医療振興協会 東京都千代田区平河町2-6-3

● 指定の期間 令和4年4月1日から令和14年3月31日までの10年間

を具備しているものと考えている。

問 公設宮代福祉医療センター六花は収支の関係、経営面で大変厳しいという理由で、昨年、1年間指定管理の期間を延長したが、もう全く心配ないのか。

答 理由は、新型コロナウイルスにはかならないわけである。そのコロナ禍においても経営努力により、結果的には、黒字化しているので、施設としては問題ないと理解をしている。

問 昨年、県で新型コロナウイルス感染症の検査を行う診療・検査医療機関の募集をしたが、公設宮代福祉医療センター六花はそれに

応えなかったことに対し、町民から批判の声が寄せられているが。

答 公設宮代福祉医療センターは、診療所と同時に老人保健施設や通所サービスなど、介護の分野においても、大きな割合を占めている。この機能を止めるわけにはいかないのが、現状のスタンスを取っている。

問 六花が設置されて18年経過するが、いまだに診療時間の延長、休日・夜間診療もなく、コロナ禍で発熱外来も診てもらえないのでは、公設と言えないのではないか。町民の要望に応えるべきでは。

答 できれば発熱外来とPCR検査などの対



公設宮代福祉医療センター「六花」

※指定管理者とは 2003年（平成15年）、地方自治法に導入された「公の施設の管理・運営を営利企業や財団法人、NPO法人などに代行させることができる」こと。

一般会計補正予算

9月定例議会では、新型コロナウイルス感染症対策などの関係により、令和3年度一般会計補正予算が全部で4件（専決処分を含む）提出されました。審議の結果、すべて承認、可決しました。

主な事業名と補正額を紹介します。

- **新型コロナウイルスワクチン接種事業** 1億9,133万円
- **町議会議員補欠選挙執行事業** 579万円
- **防災活動事業** 218万円
- **児童福祉対策事業**
（保育所新設に要する経費に対する補助金の交付） 1億3,268万円
- **福祉医療センター運営事業** 217万円
- **教育支援センター設置事業**
（教育支援センター設置に伴う改修工事などの実施） 1,765万円
- **保健予防事業**
（新型コロナウイルス感染症により自宅療養者となった方に対する食料など支援の実施） 150万円
- **水田農業構造改革対策事業**
（次期主食用米作付応援事業補助金の交付） 1,030万円
- **商工業振興事業**（事業者・お店支援金の給付や相談窓口の継続実施） 3,489万円



ワクチン接種会場（進修館）

指定管理者の指定

応はしてもらいたいと考えている。あくまでも町民のかかりつけ医として対応していけるよう、六花と交渉を続けていきたい。

問 18年の総括抜きで期待できるということがいえるのか。

答 毎年度モニタリングを実施し、過去1年間の指定管理の成果と課題について明らかにして公表している。

問 町民の願いをかなえるために、六花をどのように育てていくのか。

答 町民が安心して生活できるように、いざというときには、「六花があるから大丈夫」といわれるよう、かかりつけ医としての地域医療の役割をきちんと果たしていけるようにしたい。

賛成討論
角野由紀子議員
指定管理において、福祉医療センターの自立促進と町財政的に負担の軽減を図ることにある。これらの取り組み姿勢を評価する。

反対討論
丸山妙子議員
指定の期間が10年というのは長いと感じている。町民が思っている公設の意味を実現していたきたく、あえて反対とする。

公設宮代



反対討論
丸藤栄一議員
新型コロナウイルス感染症対策の1つを見ても、県の診療・検査医療機関の指定を受けられないなど、町民の期待に応えたものになっていない。

反対討論
西村茂久議員
選定委員会の地域医療振興協会に対する評価は釈然としない。評価結果は100分の51点。なぜ、こうした評価になったのか、納得できない。

町政をただす

一般質問は8月31日、9月1日、2日の3日間で行いました。

12人の議員が登壇し、新型コロナウイルス対策、小中学校の適正配置、和戸駅周辺関係など45項目にわたり、町の考えをいただきました。

ここに掲載したものは、質問・答弁ともに質問者がまとめたものです。



本会議の様子

通告順(発言順)の記載でなく、抽選順としています。

一般質問項目一覧

1. 金子 正志 議員 P11

- ① 中学校の適正配置
- ② 第5次宮代町総合計画
- ③ 町長報酬20%削減の継続を
- ④ 合併に関する対話集会

2. 合川 泰治 議員 P12

- ① 姉妹・友好都市の提携をどう考えているか
- ② 新型コロナウイルスワクチン接種の現況は
- ③ 事業効果を的確に
- ④ 新井町政の2期目は何をするのか

3. 丸藤 栄一 議員 P13

- ① 新型コロナウイルス感染症対策
- ② 水害対策

4. 小河原 正 議員 P14

- ① 総合病院の誘致
- ② 新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めからず
- ③ 小中学校の適正配置

5. 土淵 保美 議員 P15

- ① スマホキャッシュレス決済ポイント付与キャンペーン
- ② 対面接客事業者への感染予防対策補助金
- ③ 新型コロナウイルスワクチン接種
- ④ 東京2020オリンピック

6. 山下 秋夫 議員 P16

- ① インターネット普及のためにWi-Fi設備を公民館などに設置を、並びに経済的に困難な世帯に無料で貸し出しを
- ② 生活困窮世帯に7・8・9月分のエアコン電気代の一部補助を
- ③ 町道第61号線の白岡市との境界にある橋が狭いために危険な状況にあるが、改善を
- ④ 宮代郵便局前の歩道の進捗状況は

7. 塚村 香織 議員 P17

- ① LGBTQ(セクシャルマイノリティ)への環境整備
- ② 住民サービス向上のための取り組み

8. 泉 伸一郎 議員 P18

- ① 新型コロナウイルス感染症に備えた町の対策
- ② 地域気象防災支援の取り組み
- ③ すてっぷ宮代
- ④ 東小学校の校舎増築工事

9. 西村 茂久 議員 P19

- ① 広報みやしろ8月号に見えるコロナ禍に対する町の姿勢
- ② 和戸駅西口の問題
- ③ 屋外喫煙所の設置
- ④ 循環バスの相互乗り入れ

10. 角野 由紀子 議員 P20

- ① 防災対策、避難所
- ② 通学路の安全確保
- ③ 企業版ふるさと納税の活用は
- ④ 3歳児視力検査、早期発見のため

11. 丸山 妙子 議員 P21

- ① GIGAスクールの取り組みの状況と反応
- ② ヘルプマークの普及啓発のために配布窓口の増加
- ③ 役場・進修館の駐車場
- ④ 循環バスの乗り継ぎ料金割引制度
- ⑤ 窓口対応や電話対応の研修の必要性
- ⑥ 適正配置計画

12. 川野 武志 議員 P22

- ① 御成街道と東武伊勢崎線との立体交差化事業
- ② 定住促進
- ③ 万願寺橋通り線と須賀上交差点
- ④ 和戸駅周辺の土地利用検討エリア

㊦ 白抜きの数字は掲載された質問。それ以外は紙面の都合により掲載できなかったものです。



かねこ 正志 議員

2町協力して中学校の適正配置を 他の自治体を通学区域に設定できない



ふたつの役場から半径4km圏内

同じ自治体になり、理想的な通学区を

問 都市計画図を見ると、宮代町、杉戸町の市街化区域が隣接している。中学校の適正規模と通学距離は、両方を満たすために杉戸町と宮代町が協力すると、須賀

中学校を存続することができると。また、両町にとって理想的な適正配置を行うことも可能である。町の考えは、**答** 教育推進課長 学校規模は、法令上12～18学級が標準規模として定められている。審議会の答申でも、12～18学級が適正な学校規模であるとの提言。通学距離は、法令上は概ね6km以内が適正であるとされている。審議会の答申では半径4km以内が妥当であるとの提言。市町村教育委員会の権限は、当該市町村内に限られている。

第5次総合計画の人口計画は甘い
問 今、コロナ禍の影響で日本の少子化が早まっている。総合計画での人口見通しは甘く、見直しを急ぐべきではないか。
答 企画財政課長 既存市街地の魅力を高め、市街化区域内の農地、未利用地約53ヘクタールを効果的に活用して



学校がなくなると地域は衰退する

他の自治体の学校を通学区域として設定することはできない。3万4000人目標を達成する。

町長報酬

問 歴代町長は報酬を20%削減して財政再建に取り組んだ。新井町長は満額に引き上げた。引き上げた金額相当を、退職金額から差し引く考えは。
答 町長 差額は4年間で980万円。退職金は任期ごとに市町村事務組合から支給される。



姉妹・友好都市の提携を

提携に向けた取り組みを進めていく



いざというときのための姉妹・友好都市の提携を



あいかわ たいじ
合川 泰治 議員

問 姉妹・友好都市の提携を

答 町民生活課長

平成23年に栃木県、群馬県、福島県など149の自治体に対して防災協定の可能性についてアンケート調査を実施し、検討をしてきた。

その後、複数の広域協定が確立されたことから個別自治体間での相互応援協定を見送る判断をして現在に至っている。

姉妹・友好都市は観光や教育、防災も含めて、様々な効果や幅広い交流が得られるものと考えている。特に自然災害の脅威は、10年前と現在ではその規模も頻度も大きく違うと感じる。今後は、改めて防災対応も含めた、姉妹・友好都市の提携に向けた取り組みを進めていく。

新井町政の2期目

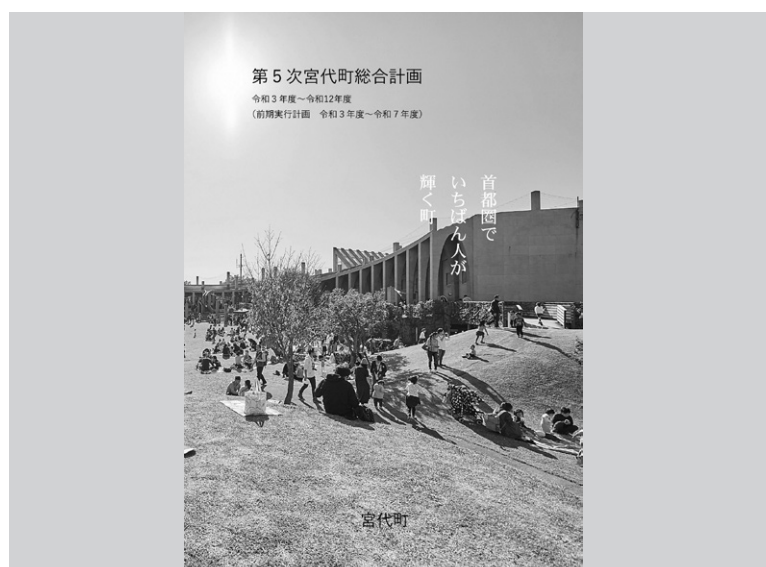
問 新井町政の2期目に実現していきたいことは。

答 町長

まずは感染症対策に全力で取り組んでいく。その上で、町民みんなのでつくった

総合計画を、一緒に取り組む総合計画といった局面にしたい。また、総合計画以外でも和戸横町地区の物流施設の整備に伴う避難所や物資提供に向けての防災力強化の取り組み、学校教育のICT化の推進、子ども医療費の高校生までの対象

拡大、町立保育園の時間延長のほか、コロナ禍で経済的影響を受けた世帯に向けた保育料区分の見直しなど時代の変化やその時々町民ニーズを的確にとらえ、一つひとつ、丁寧かつ大胆に事業を展開していきたい。



真価の問われる新井町政の2期目



録画配信



がんどう えいいち
丸藤 栄一 議員

町外から勤務している教諭への接種を

先生方に接種できるよう心がけている



町外から通っている小中学校の教職員に
早くワクチン接種を

問 夏休みが終わり、子供たちの新型コロナウイルス感染をどう防ぐかが問われている。

町外から宮代町へ勤務している小中学校の教諭が「まだワクチン接種を受けていないので、子供たちへの感染が心配」

答 夏休みが終わり、子供たちの新型コロナウイルス感染をどう防ぐかが問われている。

問 3回目のワクチン接種の準備は

答 ブレイクスルー感染※のことを考え、3回目のワクチン接種の準備は検討されているのか。

答 健康介護課長

仮に接種するとした場合、これまでの経過を踏まえて、接種体制をつくっていききたいと思っている。

問 コロナ禍での減免は

答 コロナ禍の下で、収入が減少している町民の暮らしを支援するため、国民健康保険税と介護保険料の減免状況は。

答 健康介護課長

昨年度の国保税の減免は、48人の被保険者に対して計727万円。また、介護保険料では、12人に対して計51万円の減免を行った。今年度も引き続き実施していききたい。

問 水害での支援体制は

答 水害が発生した場合、避難行動要支援者（介助の必要な高齢者や障がい者、乳幼児など）の名簿は、避難行動に活かすようになっているか。

答 健康介護課長

自主防災会では、どのように支援計画を作ったらいかがいからないなどの意見が多くあり、今後は制度の説明や目的、作成方法などの周知を図るようにしたい。



水害での支援は避難行動が重要

※ブレイクスルー感染とは 2回ワクチンを接種した患者が、予防されずに再び感染してしまうこと。



総合病院の誘致を

積極的に誘致をしていく



おがわ ただし
小河原 正 議員



総合病院の誘致は諦めず取り組むべき

問 東武動物公園駅西口に、町民の要望が強い総合病院の誘致は諦めず、継続的に運動を進めるべきであるが。

答 健康介護課長
県の第7次地域保健医療計画では、継続協議から除外する

決定がされている。病院の整備は、県が定めている基準病床数という一定の制約がある中で、令和2年10月に地域医療対策プロジェクトチームを庁内に設置した。

事業主体と期待される東武鉄道との協議を通じて次期第8次地域保健医療計画に働きかけを引き続き取り組んでいく。

問 プロジェクトチームを廃止したが、今後の取り組みは。

答 副町長・町長

今後は第8次地域保健医療計画の策定に取り組んでいくことになるので決して誘致を諦めていない。地域医療感染症対策担当としてプロジェクトチームからランクアップしており、引き続きしっかりとやっていきたい。

小中学校の 適正配置の答申

問 宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成等に関する審議会の答申の骨子は、妥当との報告である。議会において議論する場を設けるべきである。

答 教育推進課長

答申については、現在、役場の関係課と課題の整備、意見交換を行い今後の方向性について検討を進めている。

今後は、必要に応じて議会と意見交換の場を設けていく。



中学校は3校から1校へ再編・統合の答申



録画配信



つちぶち やすみ
土瀨 保美 議員

新型コロナウイルスワクチン接種

8月末には1回目の接種率は約70%以上



空気清浄機、サーキュレーター、アクリル板などの補助金

問 宮代町でのワクチン接種がスムーズに行われている要因は、

答 健康介護課長

いち早く接種の体制を決め、整えられたこと、次に接種会

場の確保ができたこと、さらに医師や看護師といった医療資源を早い段階で準備できたこと、ワクチンの配送量に応じた会場運営ができたことによるもの。

接客事業者への補助金

問 申請した割合や周知方法と反省点は、

答 産業観光課長

申請期限を9月末までに延長し、昨年申請分と合わせた申請件数が173件、約17・3%。周知については、町広報紙・ホームページに掲載、商工会が把握している事業者にすべて郵

送した。反省点は内部的には問い合わせの対応など。

スマホ決済ポイント付与

問 新規加盟店の件数と決済率が良かったのはどの業種か。

答 産業観光課長

新規加盟店の件数は61店舗で既存加盟店の72店舗と合わせて133店舗、増加率は約85%。決済率の上位は、小売業、飲食業、サービス業の順となる。

東京2020オリンピック

問 10代のスケートボードによる活躍は、目を見張るものがあった。本町にスケートボードができる環境を整えることはできるのか。

答 教育推進課長

はらっパーク宮代の調整池でスケートボードの利用が可能また、インラインスケートやランニングバイクなどの利用もできる。



スマホキャッシュレス決済
ポイント付与キャンペーン



公民館・集会所に Wi-Fi の設置を 環境整備の必要性は今後も高まる



やました あきお
山下 秋夫 議員



問 学校で児童、生徒全員にタブレットを配布している。通信料の負担など経済的に困難な児童、生徒の家庭にも支援を求める。Wi-Fi設備を避難所である公民館、集会所に設置の考えは。

どこでも通信、インターネット社会

答 教育推進課長

多様な通信手段を確保する必要性は高い。希望する集会所には、整備費用の一部を補助する。

インターネットが接続できない児童、生徒家庭には、支援策の検討を進める。

電気代の補助を

問 電気代節約のためにエアコンの使用をためらう生活困窮家庭がある。熱中症予防対策として、電気代補助を求める。

答 福祉課長

まずは食事・食材の提供を行い、生活支援をしていきたい。

郵便局前の歩道整備

問 宮代郵便局前の歩道整備について進ちよく状況と説明を。

答 まちづくり建設課長

地域住民の要望に応えるために郵便局

町道61号線の改善を

問 須賀中・須賀小から白岡市の爪田ヶ谷に続く道路で歩道もなく、白岡市との境にある橋が狭く危険であり、整備を求める。

答 まちづくり建設課長

白岡市から宮代町に向かう場合、白岡側の道路幅員が広く境界の橋が狭い道路形状である。見通しが悪い場所ではないため、譲り合って通行していただきたい。歩行者が少なく、短期的整備は困難である。



町道第 61 号線の改善と橋の拡幅を



録画配信



つかむら かおり
塚村 香織 議員

LGBTQへの環境整備は

多様性の尊重・共生を推進する



職員名札のレインボーカラーバッチは理解者のしるし

問 LGBTQ※や様々な少数派の味方（ALLY）であるという感覚は行政職員には必要であると思うが取り組みは。

答 総務課長

住民や職員を対象とした研修で、差別や偏見をなくし理解者、支援者として対

応できるよう人権意識の向上に努めている。

問 学校における児童生徒、保護者へのLGBTQの正しい知識の啓発活動は。

答 教育長

道徳などの時間に授業で取り扱い、保護者へは学年だよりを通して発信する。

問 LGBTQの児童生徒への制服、トイレや着替えなどの配慮についての教職員マニュアルは。

答 教育長

現在教職員の対応マニュアルや研修はないが、個別に対応している。性差をなくするための制服導入

は慎重に進める。

住民サービス向上を

問 高齢者困りごとサポート隊事業の進捗状況は。

答 健康介護課長

現在、助け合い活動にボランティアで取り組んでいる町民の方の状況を把握し、今後は担い手の発掘、育成を進めていく。

問 自治会運営サポートへの考えは。

答 町民生活課長
地域振興担当が窓口で各区長の相談を受けている。地区コミュニティセンターは令和5年度にモデル地区で開設する。

問 どこへ相談してよいかわからないという相談の対応は。

答 総務課長
総合窓口はないが、どの職員でも対応できるような積極的な声がけをしている。



町民ボランティアによる助け合い（国納保育園の扉修理）

※LGBTQとは 身体的性などの要素について少数派である性的マイノリティの総称



録画配信

新型コロナウイルス対策とワクチン接種

予防対策の強化と更なる接種の推進を図る



いずみしんいちろう

泉 伸一郎 議員



新型コロナウイルスワクチンの個別接種会場の「六花」

問 新型コロナウイルス感染症の対策強化とワクチン接種の進捗状況は。

答 健康介護課長

3密の回避、マスクの着用、手洗いの徹底をさらに周知、徹底していく。また、人流抑制のため東武

動物公園駅上で感染拡大防止の啓発活動を行った。ワクチン接種では9月末には対象となる町民のうち約7割が2回目の接種を終えられる見込みである。

地域気象防災支援

問 町と地元気象台との連携状況は。

答 町民生活課長

地元気象台の熊谷地方気象台防災情報係から毎日、朝・昼の2回、防災気象メールが送られてくる。台風接近などの場合には、概ね3日間の台風進路、雨、風の防災事項、3時間ごとの警報、注意報予想などの情報を得ている。

すてっぷ宮代

問 すてっぷ宮代の新たな福祉拠点としての事業の進捗は。



新たな福祉の拠点づくりがスタートした「すてっぷ宮代」

答 福祉課長

社会福祉協議会と連携して、福祉推進員の制度づくり、災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練の実施、福祉団体や活動団体との交流会の開催などを検討している。また宮代版フードドライブ事業に取り組んでいく。

東小新校舎工事

問 東小小学校の校舎増築工事の進捗は。

答 教育推進課長

現在、準備工事が完了し、基礎工事に着手している。鉄骨の組立作業など、計画に基づき工事を進め、来年2月の完成をめざしている。



録画配信



にしむら しげまさ
西村 茂久 議員

和戸駅西口残土の山解決の手続き開始を 今年度中に着手していきたい



放置され 20 年 解決待たれる残土の山

問 和戸駅西口、負の遺産、残土の山の調査はすでに終わっており決断の段階だ。解決に向け財産管理人选定手続きをいつまでに着手するのか。

答 和戸駅西口開設問題の現状と解決に向けて町民に説明を。
答 町長 和戸駅西側地区を都市計画事業として面的に整備し、そこにロータリーや道路整備をセットし東西貫通路、橋上改札化する手法が最適という提案を東武鉄道からもらっている。
しかし現在、県は住居系市街化区域の編入は認めていないため、国・県の補助

金を受けての事業実施は困難で全額町負担、かつ島型の和戸駅特殊事情から駅舎改修に加え、プラットホーム抜本改修費用も必要で町負担は極めて難しい状況。
解決に向け、①駅周辺活性化事業と絡めた都市計画事業の検討②現在の地下通路、エレベーター通路の西側延伸とパス

の設置③東西口に係る跨線橋新設案など東武鉄道との協議を検討したい。
答 企画財政課長 工業団地はどの駅からも遠く、交通手段としてハブ駅からの送迎が必要になる。今後、久喜駅や東武動物公園駅からのアクセス方法を関係機関と協議調整を行い、検討したい。

答 町長 法的手続きは今年度中にきちんと着手していきたい。
和戸駅西口開設



乗換停留所「沖の後」いつになる相互乗入れ

循環バス相互乗入

問 相互乗入は、和戸横町地区工業団地完成を見据えて、関係機関との調整は。

答 企画財政課長

工業団地はどの駅からも遠く、交通手段としてハブ駅からの送迎が必要になる。

今後、久喜駅や東武動物公園駅からのアクセス方法を関係機関と協議調整を行い、検討したい。



避難所の混雑状況、リアルタイムで配信を できるだけ早く導入したい



かど ゆ き こ
角野 由紀子 議員



スマホで避難所の混雑状況がわかります

問 災害時、避難所の混雑状況を可視化するシステムの導入を。 **答** 町民生活課長
アプリ事業者との協定によって始められ、予算を必要としないので、速やかに導入していく。

問 福祉避難所は、一般の避難所と同時期に開設すべきものと **答** 福祉避難所は、一般の避難所と同時期に開設すべきものと **問** 福祉避難所は、一般の避難所と同時期に開設すべきものと **答** 福祉避難所は、一般の避難所と同時期に開設すべきものと

なった。「すてつ宮代」をどうするか。 **答** 福祉課長
移転しオープンしたばかりで、まだ福祉避難所となっていないが、今後、避難所として検討したい。

3歳児視力検査に専用機器の導入を

問 弱視は早期発見し、適切に治療につ

なれば正常な視力を獲得できる。専用機器で検査実施を。

答 健康介護課長

町はランドルト環※

によって検査しているが、屈折検査法の検査機器の導入を進めていく。

通学路の安全対策

やちまた

問 八街市での通学路の痛ましい事故を受け、通学路点検、改善要望はどうするか。 **答** 教育推進課長

各小中学校とも4



毎朝の通学風景(信号待ち) 笠原小

月、5月の点検のほか、7月に入って改めて点検し、「宮代町交通安全対策協議会」に32か所の改善要望を提出した。通学路を検討するには、ハードの部分を含めて考え、学校長は保護者やいろいろな方の意見を聞き

判断する。

問 企業版ふるさと納税の活用を。

答 企画財政課長

第5次宮代町総合計画のスタートを切ったことなど踏まえ、本格的な活用を進める。早期に体制を整えたい。

※ランドルト環とは 上下左右のうち1か所が欠けた環状で、離れた距離から見て切れ目の方向を判定させる。

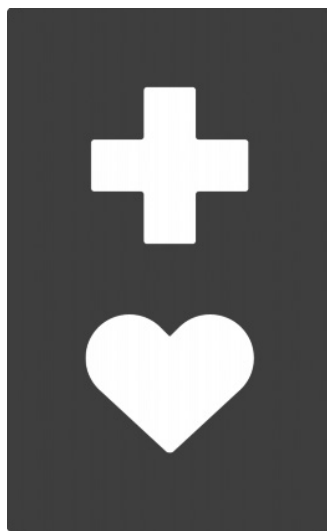




丸山 妙子 議員
まるやま たえこ

ヘルプマークの普及啓発へ配布窓口の増を

町職員に周知、子育て支援課など窓口増



町の広報紙に掲載し啓発を
安心して暮らせる町に

問 ヘルプマークをまだ知らない人が多い。町の取り組みで過ごしやすく生活を送れるよう、普及啓発の強化が必要。複数箇所での配布など望む
答 福祉課長

埼玉県と町が連携し、平成30年7月から導入。ホームページ

ジヤ庁舎内にポスターを掲示している。今後さらに普及を図るため、町職員にも周知を行い、保健センター、子育て支援課、社会福祉協議会などにも配布をして速やかに対応する。

循環バスの料金割引制度

問 3月議会で総合運動公園「ぐるる宮代」⇄久喜駅東口間の料金割引制度について質問した。対応は素早く検討との答弁だが、結果は。

企画財政課長

久喜市の循環バスを利用するのは桃山台、沖の山地区の皆



住んで良かったと思えるよう取り組むのが町の責任

さん。他地域とのバランスで不公平とならないか問題。今までどおり負担してもらうのが現実的な選択肢であると判断。

電話対応・窓口対応

問 町民の不満の声を耳にする。研修の即実行の必要性を感じる。町長の考えは。

総務課長

管理職などを中心に接遇や対応の際の

ルールやマナーを守るよう指示をし、職場全体で親切かつ丁寧な対応に繋がるよう努めていく。

適正配置計画

問 中学校1校か2校、町長の考えは。

町長

「子どもたちに最高の教育環境を提供」との決意、熟考を重ねていく。



踏切立体交差、分断されるコミュニティは 地域住民に丁寧な説明と合意形成が必要



かわの たけし
川野 武志 議員



踏切閉鎖により心配される地域コミュニティ

問 和戸踏切「立体交差・人道橋」の取り組みは。
答 まちづくり建設課長 県では、立体交差化の実現に向け、国に事業認可に向けた手続きを進め、まずは和戸交差点の右折帯設置に向けた用地買収、人道橋の設置場所も本年度中に確定できるように進め

ていくと聞いている。
和戸駅周辺の土地利用検討エリア

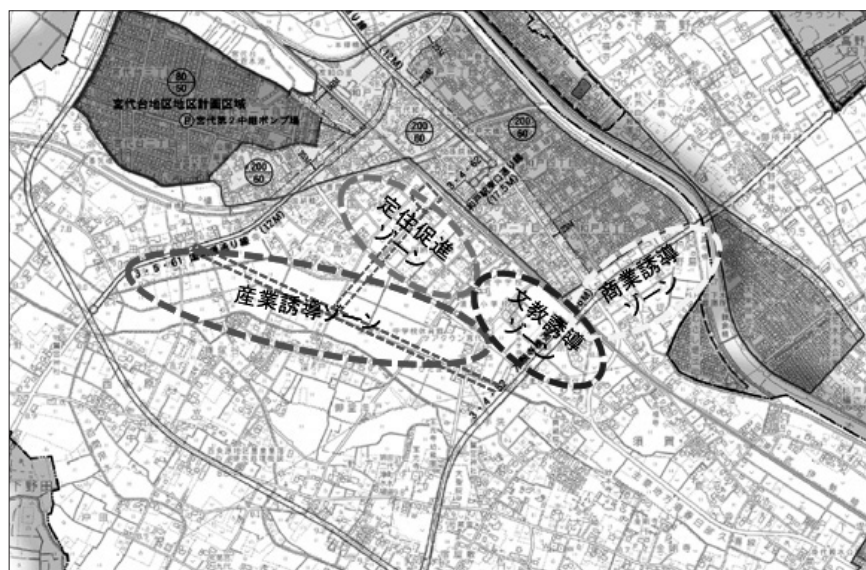
問 検討エリアに、西条原鎌塚谷に広がる農地を加え「定住促進」「文教誘導」「産業誘導」各ゾーンに分けて、方向性を明確化すべきと思うが。
答 まちづくり建設課長 原則、除外がで

きない地域、財政面や地権者の合意形成など課題も多く、整備実現は民間企業との連携や協力も重要なカギになると考える。

定住促進対策

問 空き家などのリノベーションの取り組みの支援は。

答 まちづくり建設課長 空き家などを購入、リフォーム、賃貸する場合に補助金を交付するなど、民間事業者を支援する取り



和戸駅周辺検討エリアのイメージ図

組みについて、先進事例を調査・研究していく必要があると考えている。

万願寺橋通り線と須賀上交差点

問 交差点付近の用地買収を先行実施し、右折帯や右折矢印信

号を暫定的に設置する考えは。

答 まちづくり建設課長 整備に向けて一定の用地が確保できた段階で、杉戸県土整備事務所への考えを説明し、合意形成を図っていききたいと考えている。



意見書 出産育児一時金の増額を求める



出産にかかる費用は年々増加して、費用が高い都市部などでは現在の42万円の出産育児金の支給額ではまかなえない状況になっています。

国は、医療機関から出産費用の詳しいデータを収集し、実態を把握したうえで増額に向けて検討することとしています。

安心して子供を産み育てられる環境を整えるためには、きめ細かな支援を重ねていくことが重要であり、現在の負担に見合う形に出産育児一時金を引き上げることを強く求めます。

(要旨)

意見書 建設アスベスト被害者の早期救済を求める

建設現場で資材に含まれたアスベスト（石綿）を吸い込み健康被害を受けた各地の元建設労働者や遺族が提訴した「建設アスベスト訴訟」で最高裁は今年の5月、国と建材メーカーの責任を認める判決を出しました。

最高裁は、「国は1975年までにはアスベストの危険性を認識していた」として国に違法性があつたことを認めました。

国におかれましては、国会で成立した特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律に基づき、被害者救済とともに、関連疾患の医療体制の整備や治療法の研究開発などに国として責任を果たすよう強く要望します。

(要旨)

意見書 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める

新型コロナウイルスの感染拡大は、甚大な経済的・社会的影響を及ぼし、国民生活への不安が続いています。

この中で、地方財政は来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面しています。

「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされていますが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保することを強く要望します。

(要旨)

人事

町教育委員に
深井美智子氏を任命



町教育委員に深井美智子氏を任命することに可否同数、議長裁決で同意しました。

人権擁護委員に
稲山貞幸氏を推薦



人権擁護委員に稲山貞幸氏を推薦することに全会一致で同意しました。

新議員決まる

町議会議員補欠選挙

深井義秋氏が当選しました





議案に対する各議員の賛否

○賛成 ●反対 可否同数の場合は議長裁決

議案番号	議案	議長 田島 正徳	令和 新風の会 4人	公明 党 2人	政策 かがやき 3人	無 会 派 1人	日本 共産党 2人	議決 結果
		川野 武志	土淵 保美	塚村 香織	角野由紀子	泉 伸一郎	小河原 正	
		合川 泰治	丸藤 栄一	金子 正志	西村 茂久	丸藤 栄一	山下 秋夫	
32	専決処分の承認を求めること	○	○	○	○	○	○	承認
33	令和2年度一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	認定
34	令和2年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	認定
35	令和2年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	認定
36	令和2年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	認定
37	令和2年度水道事業会計利益の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	認定
38	令和2年度下水道事業会計利益の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	認定
39	宮代町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
40	宮代町子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
41	宮代町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
42	宮代町手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
43	宮代町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
44	指定管理者の指定（公設宮代福祉医療センター）	○	○	○	○	○	○	可決
45	教育委員会の委員の任命につき同意を求めること	○	○	○	○	○	○	同意
46	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	同意
47	令和3年度一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	可決
48	令和3年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	可決
49	令和3年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	可決
50	令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	可決
51	令和3年度水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	可決
52	令和3年度下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	可決
53	令和3年度一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	可決
54	令和3年度一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	可決
55	令和3年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	可決
56	令和3年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	可決
意見書 第3号	出産育児一時金の増額を求める意見書	○	○	○	○	○	○	可決
意見書 第4号	建設アスベスト被害者の早期救済を求める意見書	○	○	○	○	○	○	可決
意見書 第5号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	可決

11月の町民と議員との議会懇談会は コロナ禍により中止といたします。

広報委員

【委員長】 金子 正志 【副委員長】 塚村 香織
【委員】 丸藤 栄一 【委員】 泉 伸一郎

編集後記
いつも議会だよりをご覧いただきましてありがとうございます。
議会における「一般質問」は、それぞれの議員が問題意識を持ち、現在取り組んでいる内容です。
地域社会の課題解決には、議員だけの力では進みません。町民の皆様のご協力をこれからもよろしくお願いいたします。
(塚村)

町民の声



鈴木 好昭さん（道佛）

昨年四月より道仏三区区長をとめさせていただいております。
コロナ禍の中で、さまざまな行事が中止となり、行事のリーダーと

しての役割、また町と町民・地域とのパイプ役として充分に果たすことはできずに残念でした。
しかし、多くの方はコロナ禍では「仕方ないよ」と言ってお下さいます。
行事がない中でも町への提出物などはかなりあります。町のホームページから提出書類をダウンロードするのですが、タイトルの変更や類似している書類があり見つけるのが大変でした。

年々区長や役員の選出が高齢化により難しくなっています。
メールやラインでの連絡、書類の受付を専用に出来るデジタル担当者の設置があれば、現役で仕事をしてる若い方々も、もっと気楽に区長や役員などを負担なく出来るのではないのでしょうか。
広報の配布、防災訓練、敬老会、その他行事なども町役場の方々とコミュニケーションを取り、仕組みを見直す必要性を感じています。

議会を傍聴しませんか

12月議会の予定は

11月25日(木) 午前10時開会

一般質問は12月1日(水)・2日(木)・3日(金)